

音楽科学習指導案

単元名：「雨のうた」

「雨のうた」

(全 5 時間扱い中 第 2 時)

授業日時 2019 年 9 月 3 日 (火) 第 3 校時

授業学級 6 年西組

授業会場 音楽室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

児童は、曲の音色と強弱を意識しながら、自分のパートを演奏できるようになる。

(2) 授業のポイント

- ・鑑賞の場面で、子ども達が曲の雰囲気や使用されている楽器を考えた。【前時までの子どもの様子】
- ・パートや班ごとの練習で、協力し、各パートで合わせられるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 前時の振り返り	「雨のうた」を聴き、どんな雰囲気だったか、何の楽器が使われていたかを振り返る。また、「fine」「D.C.」や強弱記号も取り上げる。リコーダーのソ#の運指を確認する。 ★ICT 利用 ○「前半と後半で曲の雰囲気が変わっていたよね。前半の暗い雰囲気の方はなんとか調って話を前回したけど覚えているかな」 ◎「長調」 ○「後半の少し明るくなったところは何調だったかな」 ◎「短調」 ○「今日は班ごとに練習をしていきますが、今復習したことを踏まえて、演奏する時にどんな工夫をしたらいいと思いますか」 ◎「強弱に気をつける」 ○「具体的にはどこにどんな風に強弱をつけるのがいいかな」 ◎「前半は弱めに吹いて、後半で少し強く吹くようにする」 (意図)・・・班ごとの練習時に、曲の前半と後半で表現を意識して変えることに子どもたち自ら気づけるよう、曲の展開を意識させる。	10
【学習課題】曲の音色と強弱を意識しながら、自分のパートを演奏できるようにしよう			

展開	2. 班・パートごとの練習	○「では、前回決めた班ごとに集まって、パート練習をしましょう。わからないことがあったら、班のメンバーと協力しながら練習しましょう」 ◇様子を見て、パート内で合わせたり、他のパートと合わせてみたりするよう促す。机間指導で、つまずいている子どもにはアドバイスをを行う。	25
	3. 全体で合わせる	一度班ごとの練習を止めて、全体で合わせて到達度を確認する。 ○「一回練習を止めて、全体で合わせてみましょう」 ... ○「強弱を意識して演奏することはできましたか」 ◎「途中でつまずいてしまった」「後半で元気を表現できたと思う」	5
【評価（対象）】班やパートごとに協力して、曲の音色や強弱を意識して演奏することができる。			
終末	6. まとめ	○「ワークシートに、今日の振り返りを書きましょう。今日の練習でできるようになったこと、工夫したこと、次の練習でがんばりたいことを書いて、提出してください」	5